

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

瀬戸の夕凧も快適に暮らせる家

グループの名称

夕凧住宅研究会

直近採択グループ番号

06-0781-0638

(グループ代表者)

代表者名

小野 晃佑

代表者印

代表者所属先

NPO法人広島耐震マイスター倶楽部

代表者所在地

広島県廿日市市木材港南

代表者電話番号

08-2934-3755

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社小野産業

事務局担当者名

工藤 慎司

印

事務局郵便番号

738-0022

事務局所在地

広島県廿日市市木材港南4-3

事務局電話番号

08-2934-3755

事務局FAX

08-2934-3855

事務局担当者E-mail

kudo@ono-g.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		1	棟			
			300	m ²					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
			0	m ²					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	配分枠が確定した時点で速やかに全施工員と協議の上配分する。ただし、未経験の工務店を優先させる。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸の夕凧も快適に暮らせる家	(地域型住宅供給対象地域) 広島県瀬戸内地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 夕凧住宅研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0781-0638	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・厳しい日射と寒暖差のため省エネ性能を重視し、建築物省エネ法の基準をクリアするものとし、ZEHを推奨する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・給水制限などの湯水対策に資する設備(節水型トイレ等)を標準仕様とする ・屋根及び壁に通気層を設け、遮熱性能のあるシート等を施工する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・「瀬戸の夕凧」と言われる厳しい西日対策として、西側の窓は遮熱Low-Eガラスを使用する ・日照条件を活かし、後の太陽光発電設置を考慮して構造計算を行う	◎
④①～③の背景	・温暖と思われがちな瀬戸内地方だが、夏・冬の寒暖差が大きい。 ・夏季の夕刻には、「瀬戸の夕凧」という無風状態が発生し、強い西日と共に耐え難い暑さとなる。 ・降水量の少なさから、人口が密集する地域では給水制限を受ける年もある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当団体は、平成24年度(地域型住宅ブランド化事業)より本事業に取り組み、現在では半数以上の施工構成員が経験事業者となった。本事業においては、更に中小工務店支援に注力し、2020年のZEH標準化を目標としている。さらにはLCCM住宅を基本仕様にする事を将来の目標とする。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・中国地方(主に広島県)で流通している規格寸法を使用する。ただし、化粧柱等その住宅のポイントとなるものは除く。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局が各メーカーに価格交渉し、グループ内での推奨材料を各施工工務店に調達し、推奨する。又、各メーカーに在庫が十分にあるものを予め確認して安定供給が出来るものを各施工工務店に調達する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・住宅金融支援機構の木造住宅工事仕様書に準ずる。	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・各工務店に対し、基本仕様を聞きだし、それを取りまとめ同じ仕様であればまとめて調達する。できるだけ仕様を合わせるように事務局は促す。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・各工務店の標準仕様を取りまとめる。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・委員会の設置は行っていないが、グループ構成員間で在庫状況、供給状況、価格の確認を密に行い、事務局はその状況を施工工務店に連絡する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・県産材の供給予定量及び価格情報については原木、製材事業者、事務局は定期的に情報交換を行う ・国の施策情報のスピーディーな告知活動、補助申請手続事務等を行う	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅金融支援機構の中国支店と連携し、フラット35の設計施工基準を基に整備する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工主立会いの下で完了確認を行い、契約不整合の発生を防止する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・消費者が分かり易い、専門用語を極力廃した見積書を作成する ・メーカーや品番、定価等も正確に表示することをルール化する	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域型住宅のパンフレットを作成し配布する ・事務局に相談センターを設けて消費者や施主の相談に応じる ・倒産・廃業時に備えた引き継ぎ方法、瑕疵担保保険の付保義務を提示すること、等について消費者にもパンフレット等で明確に表示する	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・特にありません	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・取り決めていることはないが、働き方改革の実現を推奨する。	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局はグループ構成員に確認をし、未加入の場合は加入をするよう勧告する。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・余裕をもって事業に取り組めるよう情報交換を密に行い、安全第一、健康増進を徹底する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	内装建材において地域材の活用もさることながら、広島県に本社を構える建材メーカーの【株式会社ウッドワン】の合法木材を使用した商品の採用を推奨する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸の夕凧も快適に暮らせる家	(地域型住宅供給対象地域) 広島県瀬戸内地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 夕凧住宅研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0781-0638	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・設計図書は、住宅履歴情報機関に蓄積する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅情報履歴機関を活用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施主ごとの図面、点検結果の登録状況を事務局IDで直接確認	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ共通の維持管理計画書を作成し、それに沿って診断・点検を行う	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検・補修の際、住宅情報履歴に蓄積する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅情報履歴機関の点検結果チェックシートの登録状況を年2回確認	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ代表者が代表を務めるNPO法人広島耐震マイスター倶楽部が行う耐震セミナー、相談会等への参加を勧める	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ代表者が代表を務めるNPO法人広島耐震マイスター倶楽部が行う耐震セミナー、相談会等への参加を勧める	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ代表者が代表を務めるNPO法人広島耐震マイスター倶楽部が行う耐震セミナー、相談会等への参加を勧める	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・今後の円滑な維持管理を遂行するために事務局と施工会員は定期的に維持管理に関しての意見交換を行う	◎	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・万が一に備えて事務局は住宅情報履歴を閲覧することができるようにする。ただし個人情報なので、管理は厳重に行う。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検時期に担当工務店が履行できないときは、事務局の指示による別途構成員、又は事務局が代替履行する	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・様々な団体が行うセミナー等への参加を勧める	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・(株)広島建築住宅センターに依頼し、長期優良住宅の設計・申請・施工講習会を実施する・会員の建てる地域型住宅の現場研修会を行う。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅金融支援機構の中国支店と連携し、フラット35の設計施工基準を基に整備する。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・第三者機関による現場での検査確認	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・特にはないが、安定供給のため、常に供給先と事務局は情報の交換をする。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・毎回2~3社の長期優良住宅未経験工務店の参加を促し、とにかく年1棟は建てられるように事務局はサポートしていき、底上げをしていくことに専念する	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・物件が発生しそうな場合、事前に供給先には在庫の確認、また、需要先にはいつごろ必要かをとりまとめる。	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 67 今年度の参加目標人数 10	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 69 今年度の参加目標人数 10	◎	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は講習会の案内を行う。施工会員に積極的に参加を促す。	○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー部会を設置しており、ゼロエネルギー住宅、LCCM住宅を研究し、情報を団体で共有する	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 該当ありません		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸の夕風も快適に暮らせる家	(地域型住宅供給対象地域) 広島県瀬戸内地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 夕風住宅研究会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0781-0638	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する共通ルール(必須) ・土台 桧 (広島県産材産地証明制度)、(合法木材証明制度・国内)、ペイマツ(合法木材証明制度・国外) ・柱 桧又は杉 (広島県産材産地証明制度)、(合法木材証明制度・国内)、ペイマツ(合法木材証明制度・国外) ・梁、桁 桧・杉・松 (広島県産材産地証明制度)、(合法木材証明制度・国内)、ペイマツ(合法木材証明制度・国外)	◎
	地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎
	標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地域材供給フロー 地域材: 証明は次のいずれかとする 1. 広島県産材産地証明協議会発行の産地証明書により証明された木材 2. 『緑の循環』認証会議(SGEC)又は森林管理協議会(FSC)により、認定された認定事業者の認定林産物 3. 森林・林業・木材産業関係団体が認定する合法木材供給事業者が県内で伐採された丸太を使用していることを納品書等で明記した木材 4. 森林法に基づく伐採に関する手続きが行われたことを証する書類の写しにより、伐採の場所及び方法が明らかな木材(製品を購入する場合にあっては、伐採届出書等の写し及び県内で伐採された丸太を使用していることを納品書等に明記した木材) 5. 合法木材証明制度により証明された木材 ※この図は代表的なフロー図であるため、例外的に異なる場合がある ※合法木材の一部においては、産地・出荷者が特定できない場合があるが、構成員による出荷であれば合法性の証明によって代替できる(特に原木供給者が海外の場合、本事業において、必要とされる本社の適用申請書記載事項確認書の添付が期限内での入手が不可能であった為、原木供給事業者の登録を行っていない。構成員の原木出荷が適合していることを示す。) </div>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の供給予定量及び価格情報については原木、製材事業者、事務局は毎月、定期的に情報交換を行う	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は構成員に対し月ごとの価格の推移の情報連絡をする。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 配分枠にもよるが、地域材の供給は上がっている。	◎
c	①-1 畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を設けることを推奨している。	○
	①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 該当ありません。	○
	①-3 襖の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を設けることを推奨している。	○
	①-4 障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を設けることを推奨している。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 該当ありません。	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 該当ありません。	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 該当ありません。	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 該当ありません。	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 対象地域の市町のガイドラインに従い、敷地に見合った緑化手法の研修を行い、趣旨の周知・徹底を図る。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 該当ありません。	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	1棟建てるごとに5000円の義援金をする。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	1棟建てるごとに5000円の義援金をする。	◎

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 瀬戸の夕凧も快適に暮らせる家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 広島県瀬戸内地域						
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 夕凧住宅研究会	<small>(結成年)</small> 2012 年						
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0781-0638							
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み								
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。								
<p>認定低炭素住宅の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準一次エネルギー消費量を10%以上削減する省エネ性能 ・性能評価機関による適合証を取得した建物 ・フラット35S(金利Aプラン)適用 ・主要構造材の8割以上を広島県産材とする ・間柱には杉(国産材)を使用する。 <p>ゼロエネルギー住宅の特徴</p> <table border="0"> <tr> <td>・一次エネルギー消費削減率(全体)</td> <td>35%以上(R0)とする。</td> </tr> <tr> <td>・一次エネルギー消費削減率(太陽光を除く)</td> <td>120%以上(R)とする。</td> </tr> <tr> <td>・外皮平均熱還流率</td> <td>0.58W/m²・K以下とする。</td> </tr> </table>			・一次エネルギー消費削減率(全体)	35%以上(R0)とする。	・一次エネルギー消費削減率(太陽光を除く)	120%以上(R)とする。	・外皮平均熱還流率	0.58W/m ² ・K以下とする。
・一次エネルギー消費削減率(全体)	35%以上(R0)とする。							
・一次エネルギー消費削減率(太陽光を除く)	120%以上(R)とする。							
・外皮平均熱還流率	0.58W/m ² ・K以下とする。							

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。